

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	看護専門課程看護学科3年課程				
実施方法	通学（昼間）				
指定講座番号(15桁)	2610025	—	2510011	—	4
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過去一年の講座実績	入講者数(人)	修了者数(人)	
平成12年3月9日	令和10年3月31日まで				
訓練期間	36ヶ月	総訓練時間	時間		
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格（看護師）				
	<input type="checkbox"/> 職業実践専門課程				
<input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム					
<input type="checkbox"/> 専門職大学院					
<input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム					
<input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格					
<input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座					
<input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科					
教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等					
専門士（医療専門課程）					
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省				
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	授業科目について所定の3分の2以上を履修した者で、学科試験60点以上で単位認定を受け、107単位(3195時間)のすべての単位を取得し、出席すべき日数の3分の2以上出席した者で、卒業認定を受けた者。				
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	看護師として、病院・診療所・訪問看護ステーション等での看護				
2. 教育訓練の内容					
教科	時間				
添付資料参照	時間				
	時間				
合計	3,195 時間				
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）					
①受講するに当たって必要な実務経験等	なし				
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度				
③その他					

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① 前年度の修了者数	72	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	83	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	72	人	受験率(③)/(②)	86.7%	%
④ ③のうち合格者数	65	人	合格率(④)/(③)	90.3%	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	65	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥)/(②)	78.3%	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時の仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、

修了後に別の職に転職した者。

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	人			
② 受講開始時の就業状況等	人	②A:就業者計		
1 正社員	人			
2 非正社員、	人			
3 その他の就業	人			
4 非就業	人			
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	人	②B:非就業者計		
1 受講開始時	人			
2 受講開始時	人	③の回答数合計		
3 受講開始時	人	※②Aと同数(又はそれ以下)		
④ 受講後の就業形態	人			
1 正社員	人	④A:就業者計		
2 非正社員、派遣社員	人			
3 その他の就業(自営業等)	人			
4 非就業者	人			
⑤ 受講後の賃金変化	人	④B:非就業者計		
1 3割以上増加した	人			
2 1割以上3割未満増加した	人			
3 1割未満増加した	人	⑤の回答数合計		
4 変わらない	人	※④Aと同数(又はそれ以下)		
5 1割未満減少した	人			
6 1割以上3割未満減少した	人			
7 3割以上減少した	人			
⑥ 講座の受講の効果	人	⑥の回答数合計		
1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	※①と同数(又はそれ以下)		
2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人			
3 社内外の評価が高まる	人			
4 早期に転職・再就職できる	人			
5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	人			
6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	人			
7 趣味・教養に役立つ	人			
8 その他の効果	人			
9 特に効果はない	人			
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	人	⑦の回答数合計		
1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	人	※②Bと同数(又はそれ以下)		
2 受講修了後3~6か月以内に就職した	人			
3 受講修了後6~12か月以内に就職した	人			
4 就職していない	人			
⑧ 講座の全体評価	人	⑧の回答数合計		
1 大変満足	人	※①と同数(又はそれ以下)		
2 おおむね満足	人			
3 どちらとも言えない	人			
4 やや不満	人			
5 大いに不満	人			

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法	
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準)	出席率66% (2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める。
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率66% (2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める。
(4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たし卒業試験合格
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	専門領域別に個々に指導を実施。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	講義以外に国家試験対策(模擬試験・補講)、職業ガイダンスを実施。
8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	一般社団法人京都府医師会 (代表者名: 会長 松井道宣)
住所及び連絡先	京都府京都市中京区西ノ京東梅尾町6 TEL 075-354-6101
施設名称及び施設長名	京都府医師会看護専門学校 (施設長: 校長 松井道宣)
住所及び連絡先	京都府京都市山科区柳辻西浦町1-13 TEL 075-502-9500
苦情受付者	氏名 中川 昌男 所属 事務室 事務局長 事務担当者 氏名 岩崎 香子 所属 事務室
連絡先	TEL 075-502-9500 連絡先 TEL 075-502-9500
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 1,960,000 円
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)
①一括払	280,000 円
②分割払	
③両方可能	②受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)
	第1期 280,000 円 第2期 280,000 円 第3期 280,000 円 第4期 280,000 円 第5期 280,000 円 第6期 280,000 円 (うち、必須教材費 0 円)
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 812,900 円
	① 任意の教材費(税込額) 278,900 円 ② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 0 円 ③ 施設維持費(税込額) 180,000 円 ④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 354,000 円
	3. 総額 (1+2) (税込額) 2,772,900 円

別表 第2

京都府医師会看護専門学校
看護専門課程看護学科3年課程

教育課程及び授業時間数

教育内容	授業科目	単位数(時間数)		合計	
		講義	臨地実習		
基礎分野	科学的思考の基盤	看護に活かす表現力	1 (30)		
		看護に活かす科学	1 (30)		
		文化環境学	1 (30)		
		情報科学 I	1 (15)		
		情報科学 II	1 (30)		
	人間と生活、社会の理解	人間関係論	1 (30)		
		家族関係論	1 (30)		
		くらしの中の倫理学	1 (15)		
		総合人間論	1 (30)		
		心理学	1 (15)		
専門基礎分野	人体の構造と機能	医療英語	1 (15)		
		京都文化学	1 (30)		
		京都学	1 (15)		
		健康スポーツ	1 (15)		
		小計	14 (330)		
	疾病の成り立ちと回復の促進	解剖生理学 I	1 (30)		
		解剖生理学 II	1 (30)		
		解剖生理学 III	1 (30)		
		解剖生理学 IV	1 (30)		
		生化学	1 (15)		
専門分野	健康支援と社会保障制度	からだと栄養学	1 (15)		
		微生物学	1 (15)		
		病理学総論	1 (30)		
		疾病と治療 I	1 (30)		
		疾病と治療 II	1 (30)		
		疾病と治療 III	1 (30)		
		疾病と治療 IV	1 (30)		
		薬理学の基礎	1 (15)		
		臨床薬理学	1 (15)		
		臨床検査	1 (30)		
専門分野	地域・在宅看護論	治療学	1 (30)		
		臨床心理学	1 (15)		
		臨床判断の基礎	1 (15)		
		保健医療論	1 (30)		
		家族看護学	1 (15)		
	精神看護学	社会福祉	1 (30)		
		関係法規	1 (15)		
		健康支援論	1 (15)		
		チーム医療論	1 (30)		
		小計	24 (570)		
専門分野	看護の統合と実践	看護学入門	1 (30)	基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II	
		看護研究の基礎	1 (30)		
		共通看護技術	1 (30)		
		日常生活援助技術論 I	1 (30)		
		日常生活援助技術論 II	1 (30)		
		看護過程展開技術	1 (30)		
		ヘルスマセメント	1 (30)		
		診療の援助技術 I	1 (30)		
		診療の援助技術 II	1 (30)		
		健康段階に応じた看護	1 (30)		
専門分野		プライマリヘルスケア・学習支援	1 (30)		
		環境と健康な暮らし	1 (30)	地域・在宅看護論実習	
		地域・在宅看護の特徴	1 (30)		
		訪問看護の仕組みとケアマネジメント	1 (30)		
		在宅で求められる看護技術(生活)	1 (30)		
		在宅で求められる看護技術(医療)	1 (30)		
		在宅看護の実際と展開	1 (30)		
		こころの健康概念と地域保健福祉	1 (30)		
		こころの健康障害と治療の理解	1 (30)		
		リカバリーアプローチ	1 (30)		
専門分野		セルフケア概念と看護実践	1 (15)		
成人看護学	多様な社会を生きる人々の生活と健康	1 (30)	成人看護学実習 成人老年看護学実習(慢性期) 成人老年看護学実習(急性期) 成人老年看護学実習(移行支援期)		
	がん看護	1 (30)			
	クリティカル看護	1 (30)			
	周術期看護	1 (30)			
	成人慢性期	1 (30)			
	臨床推論	2 (45)			
老年看護学	高齢者と家族の理解	1 (30)			
	高齢者の健康障害と援助	1 (30)			
	高齢者の生活の場に応じた支援技術	1 (30)			
	高齢者の症状アセメント	1 (15)			
	小児の発達と取り巻く社会の動向	1 (30)	老年看護学実習 I 老年看護学実習 II		
専門分野	小児看護学	小児特有の疾患と治療		1 (30)	
		小児の機能障害と看護		1 (30)	
		小児の健康障害と判断		1 (15)	
		リプロダクティブヘルスケア		1 (30)	
		マタニティケア I		1 (30)	
	母性看護学	ウィメンズヘルスケア		1 (30)	
		マタニティケア II		1 (15)	
		看護における倫理		1 (15)	
		看護マネジメント・医療安全		1 (30)	
		災害看護		1 (15)	
専門分野	看護の統合と実践	国際看護	1 (15)	未来の自分になれる実習 23 (1035)	
		看護実践の探求	1 (30)		
		自己の看護の探求	1 (30)		
		小計	46 (1260)		
		合計	84 (2160)		